

## 令和5年第3回定例会12月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会します。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

### 発 言 順 位

#### 12月6日(水)

- |     |    |     |              |          |
|-----|----|-----|--------------|----------|
| (1) | 中川 | 夏望  | 議員(市民の会)     | ……………P2  |
| (2) | 竹内 | きよ子 | ”(明石かがやきネット) | ……………P4  |
| (3) | 正木 | 克幸  | ”(明石維新の会)    | ……………P6  |
| (4) | 千住 | 啓介  | ”(自由民主党明石)   | ……………P7  |
| (5) | 梅田 | 宏希  | ”(公明党)       | ……………P8  |
| (6) | 黒田 | 智子  | ”(市民の会)      | ……………P10 |
| (7) | 林  | 丸美  | ”(明石かがやきネット) | ……………P11 |
| (8) | 高尾 | 秀彰  | ”(明石維新の会)    | ……………P13 |

#### 12月7日(木)

- |      |    |     |              |          |
|------|----|-----|--------------|----------|
| (9)  | 出雲 | 有希子 | 議員(自由民主党明石)  | ……………P14 |
| (10) | 河村 | 和歌子 | ”(公明党)       | ……………P15 |
| (11) | 山中 | 裕司  | ”(市民の会)      | ……………P16 |
| (12) | 宮坂 | 祐太  | ”(明石かがやきネット) | ……………P17 |
| (13) | 中村 | 茂雄  | ”(明石維新の会)    | ……………P18 |
| (14) | 石井 | 宏法  | ”(自由民主党明石)   | ……………P19 |
| (15) | 長尾 | 博子  | ”(公明党)       | ……………P20 |
| (16) | 金尾 | 良信  | ”(市民の会)      | ……………P21 |

#### 12月8日(金)

- |      |     |    |               |          |
|------|-----|----|---------------|----------|
| (17) | 寺井  | 吉広 | 議員(明石かがやきネット) | ……………P23 |
| (18) | 上田  | 雅彦 | ”(明石維新の会)     | ……………P25 |
| (19) | 井藤  | 圭順 | ”(自由民主党明石)    | ……………P26 |
| (20) | 国出  | 拓志 | ”(公明党)        | ……………P27 |
| (21) | 山下  | 祥  | ”(市民の会)       | ……………P29 |
| (22) | 辻本  | 達也 | ”(日本共産党)      | ……………P30 |
| (23) | 中西  | 礼皇 | ”(対話の会あかし)    | ……………P32 |
| (24) | 家根谷 | 敦子 | ”(スマイル会)      | ……………P33 |

※順位については予定です。

令和5年第3回定例会12月議会発言通告一覧表

発言順位	1	議員名	中川夏望(市民の会)
発言事項	<p><b>1 インパクト投資について</b></p> <p>(1) 社会課題解決のためのSIB(ソーシャル・インパクト・ボンド)による事業の展開について            (要旨) SIB事業とは、社会的課題の解決を目的とした成果報酬型の事業をいう。近隣の市町では、神戸市や川西市が実施している。            対象テーマは、医療・健康・介護といったヘルスケア領域が多いが、若者の就労支援、住宅支援、子ども・家庭支援といった領域まで幅広く行われている。経済産業省は、自治体が独力で事業組成ができるようヘルスケア分野のPFS(成果連動型民間委託契約方式) / SIB事業組成パックを提供している。            本市では、今までSIB事業は実施されていないが、国や民間の資金やノウハウを活用し、社会的インパクトをもたらす事業を検討してはどうか。本市の見解を問う。</p> <p>(2) SDGs債について            (要旨) 兵庫県は、令和5年度に全国初となる県市町共同での個人向け債券「ひょうごグリーン県民債」を発行した。14の市町と兵庫県が共同で発行しているが、本市は参画していない。            本市は、SDGs未来都市として当該債券を含むSDGs債についてどのように考えているのか。また、もし来年度以降発行が計画されるのであれば、本市も共同発行に参画してはどうか。本市の見解を問う。</p>		
	<p><b>2 医療的ケア児への対応について</b></p> <p>(1) 組織横断的な連携について            (要旨) 6月議会では「庁内関係部署をはじめ、医療機関等を含めた情報共有と連携体制を構築するとともに、ワンストップで御相談に対応できる窓口を設置する」との答弁を得た。その進捗を問う。</p> <p>(2) 医療的ケア児の保育園の入園について            (要旨) 現在、本市では、医療的ケア児のうち6名が保育園に通っている。しかし、いまだに入園を断られたり退園を迫られたりして、保育園に通うのもままならない家庭があるのが現状である。            その主な原因は、保育施設の受け入れ体制と看護師の確保だと認識している。この問題をそれぞれどのように解決するのか。本市の見解を問う。</p>		

発言順位	1	議員名	中川夏望(市民の会)
発言事項	<p>(3) 市役所における医療的ケア児の専門職員の配置について  (要旨) 市役所に医療的ケア児等コーディネーターなど、専門の職員を配置しないか。本市の見解を問う。</p> <p>(4) 医療的ケア児に関する情報提供について  (要旨) 保護者が医療的ケア児に関する情報にアクセスしやすいように、医療的ケア児に関する本市の情報を一元化したパンフレットやホームページを充実させてはどうか。また、保護者同士をつなぐ仕組みを構築してはどうか。本市の見解を問う。</p>		
	<p><b>3 子育て支援のさらなる拡充について</b></p> <p>(1) 訪問型の病児保育の実施について  (要旨) 大阪府堺市は、施設型に加えて訪問型の病児保育を実施している。広島県福山市は、本年10～11月に訪問型病児保育の実証実験を実施している。本市においても実証実験でニーズや利用状況を確認し、市民サービスへつなげてはどうか。本市の見解を問う。</p> <p>(2) 保育園の育休退園制度について  (要旨) 本市では、下の子の育休中だと、最長でも育児休業を取得することとなった児童が満1歳になる年度の翌4月29日までに育休から復帰して下の子を保育園に預けないと、上の子が退園になってしまう。この育休退園の制度を廃止しないか。本市の見解を問う。</p>		

発言順位	2	議員名	竹内 きよ子（明石かがやきネット）
発言事項	<p><b>1 放課後児童クラブの課題について</b></p> <p>(1) 各放課後児童クラブにおける支援の必要な児童への対応について  (要旨) 6月議会でも放課後児童クラブについて質問をしたが、昨年度からほぼ入所希望者全員を受け入れられていると聞いている。作業療法士の巡回指導については、今よりさらに充実した支援が必要であると考えます。支援員を助けるだけでなく、児童が安全に放課後児童クラブでの生活を送る上で大切だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p><b>2 人生100年時代、健康長寿命で安全なまちづくりを</b></p> <p>(1) フレイル事業の進捗状況について  (要旨) 高齢者の皆様がいきいきと健康に暮らせるように、また、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるように、フレイルに対して正しい知識を持ち、サポーターの養成・普及啓発をどう進めるか、市の見解を問う。</p> <p>(2) フレイル対策の普及啓発における今後の取組について  (要旨) 人生100年時代になり、健康で生きていくためには、フレイル対策の普及が不可欠であると考えますが、市の見解を問う。</p> <p><b>3 本市の小・中学校の抱える課題とその対応について</b></p> <p>(1) 体育大会の実施時期について  (要旨) 中学校が毎年開催している体育大会は、2学期の第3土曜日と統一されている。今年度の猛暑が来年度以降も予想される中、水分補給しても熱中症の危険があるグラウンドでの取組は限界であるという声も聞く。天候に左右される行事の検討には、安心・安全に取り組むことが大切だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 給食費の公会計化について  (要旨) 令和元年7月に、文部科学省から学校給食費徴収・管理に関するガイドラインが示され、公会計化の移行を促進することとされている。令和2年度から中学校給食費が無償化になり、徴収事務の負担がない中、小学校の給食無償化が難しい現状なら、給食費の公会計化に踏み込むべきと考えますが、市の見解を問う。</p> <p>(3) スクールカウンセラー（SC）の配置の拡充について  (要旨) 教職員未配置問題から、学校の現場では児童生徒にきめ細かい対応がしにくい状況が続いている。いじめ、不登校、ヤングケアラー、自殺の問題等、コロナ禍以降、心が満たされず不安定な子どもたちが増え続けている。市独自の基準でSCを配置していかなければならないと考えますが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	2	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p><b>4 不登校対策、ポストコロナ社会における子どもの居場所について</b></p> <p>(1) 小・中学校の不登校の現状と今後の課題について            (要旨) 2022年の文部科学省調査によると、不登校の子どもの数は小・中学校で299,048人(前年度比22.1%増)と過去最多となっており、不登校の子どもの38.2%が学校内外の機関で相談を受けることができていない現状である。新型コロナウイルス感染症が子どもたちの心に与える影響も大きく、社会全体で根本的な解決を図る必要があると考えるが、本市の現状と今後の課題を聞く。</p> <p>(2) 学校内外の支援の状況について            (要旨) 学校外では、もくせい教室のほかに、本市が令和3年9月からパイロット事業として実施している公設民営のフリースクール、あかしフリースペース・トロッコがあるが、一定の待機児童数があると聞いている。学校内においては、保健室登校、別室登校などの方法が考えられるが、本市の支援の状況を聞く。</p> <p>(3) 教職員の研修について            (要旨) 子どもたちの変化にいち早く対応するためにも、教職員の研修、施設見学は必要だと考えるが、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	3	議員名	正木 克幸 (明石維新の会)
発言事項	<p><b>1 新たな財源確保に向けた中長期的な政策ビジョンについて</b></p> <p>(1) 人口増加に伴う政策のビジョンについて (要旨) 人口増加に伴う中長期的な指針として、就業先等の確保や新たな財源確保の指針について、市の見解を問う。</p> <p><b>2 業務効率を上げることによる財源確保について</b></p> <p>(1) 人件費の削減に伴う技術職員の減少について (要旨) 総職員数は増加するも技術職員が減少している理由と、今後の採用及び育成指針について、市の見解を問う。</p> <p>(2) 採用した職員の離職率について (要旨) 採用後、離職率はどの程度なのか。想定外の数値であるなら、この問題を解決するために、どのような対策を講じておられるのか、市の見解を問う。</p> <p>(3) 職員の適正な確保について (要旨) 技術職員のみならず、様々な部署で人員が集まらないと聞くが、今後の適正な人員確保に向けた方針について、市の見解を問う。</p>		

発言順位	4	議員名	千住 啓介 (自由民主党明石)
発言事項	<b>1 今後の明石市の方向性について</b>		
	<p>(1) 本年度の財政見通しについて  (要旨) 本年度もあと4か月を切った。本年度の検証も行いつつ、次年度に向けて予算編成をしていくべきと考える。令和4年度は市税収入が過去最高になる一方、単年度収支は赤字であり、基金も取り崩した。本年度も約21億円の基金取り崩しの予算であった。本年度の財政見通しについての認識を問う。</p> <p>(2) 本市の行うべき事業並びに諸課題について  (要旨) 本市は待ったなしの課題が山積している。積み残した課題について、早期に着手、もしくは計画策定を行うべきと考える。新ごみ処理施設、明石港東外港地区の整備、明石公園内の旧市立図書館跡地、公設卸売市場の建て替え、市民病院の老朽化、そして、約106億円の市税をかけて取得した大久保北部の荒れ地の利活用等々、様々な課題がある。市長は、どのように認識し進めていくのかを聞く。</p> <p>(3) 経済成長をもって市民の暮らしを豊かにする施策について  (要旨) 政治は、市民の暮らしを豊かにする責任がある。地域経済の成長をもって市民の所得増に導く必要があると考える。今後、どのように市民の暮らしを豊かにし守っていくのか。市長の認識を問う。</p> <p>(4) 本市の組織体制について  (要旨) 長年課題となってきた技術系職員の不足問題や技術の継承問題がまだ解決できていないと考える。また、今後の事業実施に際して、人員が充分であるのか疑問である。市長の認識を問う。</p>		

発言順位	5	議員名	梅田 宏希 (公明党)
発言事項	<p><b>1 国の重点支援地方交付金について</b></p> <p>(1) 低所得者世帯への支援について  (要旨) 世界情勢の混乱の影響等でコロナ禍の物価高騰が続き、特に低所得者世帯の生活を直撃している。一世帯当たり7万円の支援について、国は年内給付を目指しているが、本市でも年内給付の体制はできているかをお答えください。</p> <p>(2) 生活者支援について  (要旨) 生活者支援は各自治体の実情に照らして、具体的な内容を決める推奨事業メニューがある。本市への交付金の額と具体的な事業についての考えをお答えください。</p> <p><b>2 工場緑地面積率の緩和について</b></p> <p>(1) 市内工場の緑地面積率のアンケート調査について  (要旨) 今年度に行ったアンケート調査の結果はどうであったか。どのように分析したのか。また、「SDGs未来安心都市・明石」の観点から、市内事業者と協働して、質の高い緑地の整備や温暖化対策に取り組む展望についてお答えください。</p> <p>(2) 兵庫県環境の保全と創造に関する条例の対象工場の緩和について  (要旨) 市内の9,000㎡未満の工場は、県の環境の保全と創造に関する条例の規制が継続しており、市内事業者の事業展開ができない。早急に緩和するべきである。お考えをお答えください。</p> <p>(3) 二見人工島の地域未来投資促進法の適用について  (要旨) 当地は工業専用地域であり、播磨町区域は同法を適用して緑地面積率1%である。本市区域は20%から5%に緩和したとはいえ、依然として同じ島内で大きな格差があり、経済活動や地域特性の活用に大きな障壁になっている。  この経済的格差を解消するため、まずは市・県が基本計画を策定するところから始め、国の同意までの手続を開始していくべきである。お考えをお答えください。</p> <p><b>3 带状疱疹ワクチンの助成制度について</b></p> <p>(1) 带状疱疹の認識について  (要旨) 過去3回の質問に対する答弁は、①感染力が低く集団感染の可能性も低い。②ワクチンによる健康被害が社会的な問題になるとして、带状疱疹に苦しむ市民に寄り添う答弁はなかった。今でも、この認識に変わりはないかをお答えください。</p>		



発言順位	5	議員名	梅田 宏希 (公明党)
発言事項	<p>(2) 「SDGs 未来安心都市・明石」としての認識について  (要旨) SDGs の17ゴールの3番目「すべての人に健康と福祉を」について、80歳までに3人に1人が発症するという国民病であり、今年の10月の調査では全国で316の自治体が助成制度を事業化し、来年度は400以上と言われている。  近隣自治体との横並びではなく、全国の動向を基準に判断すべきである。さらには、市民目線での判断が最も重大である。お考えをお答えください。</p> <p><b>4 動物と共生するまちづくりについて</b></p> <p>(1) 多頭飼育崩壊の対策について  (要旨) 昨年も多頭飼育崩壊が発生した。これまでとは違う取組として、あかし動物センターとボランティア団体が一体となり、猫23匹全てを譲渡し、4か月で解決した。今後の取組として大事なことは、多頭飼育崩壊を未然に防ぐためのチェックシートを活用した事前対策である。関係機関との連携をどのように構築するのか、お考えをお答えください。</p> <p>(2) 災害時の人とペットの同行避難について  (要旨) 近年の温暖化による豪雨災害の頻発を受け、災害避難所における具体的対応マニュアルが作成されている。災害時は人命が最優先であるが、ペットも家族の一員として必ず同行避難者がいる。動物愛護の観点から、また、被災者の心のケアの観点から、本市のマニュアルの見直しをする必要がある。お考えをお答えください。</p> <p>(3) 災害時の動物救護施設としての動物センターについて  (要旨) 災害時、飼い主からの一時預かりや、保護・収容した負傷動物や放浪動物が発生した場合、飼養管理する施設が必要になり、本市の場合はあかし動物センターが対応することになる。東日本大震災、熊本地震の際に大きな課題となった経緯から、本市の現状と対策についてのお考えをお答えください。</p>		

発言順位	6	議員名	黒田 智子(市民の会)
発言事項	<p><b>1 不登校対策について（COCOLOプランにどう取り組むのか）</b></p> <p>(1) 全ての不登校の子どもたちに学びの場を保障する取組をどう進めるのか。  (要旨) 各学校に校内フリースクールを設け、学校には来れるが教室には入れない児童生徒が安心して過ごせる居場所や学びの場をつくれぬか。また、家庭で過ごす児童生徒にICTの活用を後押しするような取組ができないか。</p> <p>(2) 市全体で考えていける場をつくれぬか。  (要旨) 当事者・家族・支援者・学校・専門家・福祉分野などいろんな目線で、共に考えることでよりよい対策を見出すことができるのではないか。そのための対話の場をつくれぬか。</p> <p>(3) 家庭や学校以外の居場所づくりの充実に向けて  (要旨) 公設民営の第三の居場所を地域ごとにつくることに加えて、子ども・家庭の状況をアセスメントし、関係機関や支援へつなげる機能を持つ居場所を地域ごとに設置できないか。</p> <p><b>2 インクルーシブなまちづくりについて</b></p> <p>(1) インクルーシブなまちづくりの現状と課題、今後の方向性について  (要旨) 市の見解を問う。</p> <p>(2) インクルーシブイベントを企画しないか。  (要旨) インクルーシブを目指すなら、仲良くなるのが一番早い。そこで、障害のある人もない人も交流できるイベントを開催できないか。まさに産官学の共創でモデル的に実施してはどうか。市の見解を問う。</p> <p><b>3 「ステップハウス」等の自立支援について</b></p> <p>(1) DV被害者の自立支援「ステップハウス」をつくらぬか。  (要旨) DV被害者が加害者から離れて自立に向けて生活を立て直すステップハウスなどの自立支援が重要であると考え、市の見解を問う。</p> <p>(2) 「ステップハウス」に、市営住宅を活用できないか。  (要旨) ステップハウスの実施には住宅の確保が重要になるが、市営住宅を活用することができないか。市の見解を問う。</p>		

発言順位	7	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p><b>1 協働のまちづくりについて</b></p> <p>(1) 協働のまちづくりにおける現状の課題と本市の役割について  (要旨) 平成28年に明石市協働のまちづくり推進条例が施行され、これまで、協働のまちづくりの基本理念の下に、各小学校区まちづくり協議会等との協働により小学校区単位のまちづくりが進められてきた。しかし、この間、まちづくりの進捗は校区間で差が出ており、先を行く校区では新たな課題も見えてきている。市民主体のまちづくりを進めることは大切だが、行政が共に汗をかく姿勢も必要ではないかと考える。  同条例では、協働とは「個々が果たすべき役割と責任を自覚し、共に考え、共に力をあわせること」とあるが、小学校区でのまちづくり推進において市が果たすべき役割について、市の見解を問う。</p> <p>(2) 地域交付金について  (要旨) この間、物価高騰や最低賃金の引き上げなど社会情勢の変化があった。また、現在、地域交付金は一律の基礎額に各校区の取組に応じた加算額を加えて交付されているが、校区によって活動内容や住民数にも差があり、公平性の観点からも、制度設計の見直しが必要ではと考える。市の見解を問う。</p> <p>(3) まちづくりの担い手について  (要旨) 自治会やPTAへの加入率の低下、共働き世帯の増加、ライフスタイルの多様化等により、地域活動に参画してくれる人材の確保が難しくなっている。地域の努力だけではなく、行政の支援も必要であると考え、市の見解を問う。</p> <p>(4) 将来のビジョンについて  (要旨) 地域の特性を生かすまちづくりは大切だが、目標や理想が見えず、地域に負担感が残ることは避けなくてはならない。協働のまちづくりを推進することによって、市民にとってどんな未来があるのか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	7	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p><b>2 こどもの居場所、遊び場について</b></p> <p>(1) プレーパークについて</p> <p>(要旨) プレーパークとは、こどもたちの好奇心を大切に、自由にやりたいことができる屋外の遊び場で、一般の公園では禁止されているような、たき火や穴掘り、泥遊び、基地づくりなどの様々な遊びにより、こどもの好奇心や創造性を刺激する場となっている。通常、プレーワーカーと呼ばれる遊び環境を支える大人が配置され、こどもの遊びや相談の相手となり、また地域住民とつながる役割も担っている。</p> <p>近年、こどもの外遊びが減少し、遊ぶ環境にも禁止事項が多い中、のびのびと思い切り遊べ、健やかな成長を促すためにも自由な遊びの場を整備する必要性を感じている。新たな居場所・地域コミュニティの発展にもつながる可能性もあり、設置を検討してはどうかと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	8	議員名	高尾 秀彰 (明石維新の会)
発言事項	<p><b>1 小・中学校の空調設備の整備について</b></p> <p>(1) 体育館の空調設備について  (要旨) 令和2年に養護学校、小学校28校及び中学校13校の全ての特別教室・普通教室に空調設備の整備が完了したと聞いている。しかし、体育館に関しては、空調設備がいまだに一か所も整備が進んでいない。今後の取組について、どのように考えているのか、お答えください。</p> <p><b>2 新中崎分署について</b></p> <p>(1) 緊急車両の出動動線について  (要旨) 現在、新中崎分署移転計画では、新庁舎建設予定地の北向いの中崎遊園地に新中崎分署の建設が予定されている。国道28号の渋滞時等において緊急車両の出動時に影響はないのか、また、回避策等はあるのか、お答えください。</p>		

発言順位	9	議員名	出雲 有希子（自由民主党明石）
発言事項	<p><b>1 明石市立市民病院の老朽化対策について</b></p> <p>(1) 市民病院の老朽化について  (要旨) 市民病院の設備の老朽化について、今から検討しても遅くはない状況になっていることに対して、市はどのように考えているのか。病院の廃止、譲渡、現地建て替え、移転建て替えのいずれかしかない状況だと思うが、本市の見解を問う。</p> <p>(2) 地域医療のあり方検討プロジェクトチームについて  (要旨) 本年7月に検討プロジェクトチームが立ち上がったと聞いているが、その中での検討具合や進捗状況、今後のスケジュールについて問う。</p> <p>(3) 存続と建て替えを前提とした県との協議や医師の確保のための大学関係者との協議について  (要旨) 検討材料となる資金繰りや他病院との連携、医師の確保のための各大学への働きかけ等は事前にある程度必要だと思うが、そのあたりはどのように考えているのか。既に接触は行われているのか、本市の状況を問う。</p> <p><b>2 明石川を水源とする水道水の水質（安全性）について</b></p> <p>(1) 明石川を水源とする水道水の現状について  (要旨) 明石川の水を使用する水道水のPFOS・PFOAの数値（推移も含む）について及び本市が行っている水質担保のための対策について問う。</p> <p>(2) 市民への周知について  (要旨) 報道を受けて、市民から個人的に問い合わせが増えているが、本市の対応はどうなっているのかを問う。</p>		

発言順位	10	議員名	河村 和歌子 (公明党)
発言事項	<b>1 ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症の対策について</b>		
	<p>(1) HPVワクチンの男性への接種の現状について  (要旨) 男性がHPVワクチン接種をすることで、男性自身のHPV感染による疾病を予防できることに加え、パートナーへの感染防止や社会全体での感染リスク低下など、接種の意義は高いと言えるが、本市の取組状況について問う。</p> <p>(2) HPVワクチンの男性への接種費用助成について  (要旨) 任意接種である男性のHPVワクチン接種に関わる費用の助成が全国の自治体で広がってきている。接種を希望する保護者の経済的負担の軽減を図るためにも助成ができないか、本市の考えを問う。</p> <p>(3) HPVワクチンのキャッチアップ接種未完了者への対応について  (要旨) キャッチアップ接種の期限が令和7年3月末であるため、接種期限と回数を考慮する必要がある。市として未完了者に対して、どのように対応するのか問う。</p> <p>(4) HPV検査キットの配布について  (要旨) 子宮頸がん検診の受診率向上のため、HPV検査キットの無料配布が全国の自治体で広がってきている。子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種未完了者に検査キットを送付してはどうか。市の考えを問う。</p>		
	<b>2 ひとり暮らしの高齢者が地域で安心、安全に生活するための支援について</b>		
	<p>(1) 本市のひとり暮らし高齢者の現状について  (要旨) 高齢者の増加や家族の在り方の変化などから、ひとり暮らしの高齢者が増加していると聞く。本市におけるひとり暮らしの高齢者の現状を聞く。</p> <p>(2) 本市のひとり暮らし高齢者の生活を支える施策の現状について  (要旨) ひとり暮らしの高齢者は、夫婦世帯や家族世帯と異なる困りごとや不安を抱えており、支援や見守りの必要性が高いと考える。市として、ひとり暮らしの高齢者に対して、どのようなニーズを捉え、それに対する施策を実施しているかを問う。</p> <p>(3) 加齢に伴う難聴高齢者の生活支援について  (要旨) 地域の声として、加齢に伴う難聴高齢者の課題を聞いている。訪問者の来訪や電話等の連絡に気づけないなど、生活に支障を来しており、ひとり暮らしの高齢者であればなおさらである。障害には至らないが加齢により聞こえづらくなっている高齢者にとって、光の点滅などで知らせる屋内信号装置の設置費用の給付や助成を実施してはどうか。本市の考えを問う。</p>		

発言順位	11	議員名	山中 裕司(市民の会)
発言事項	<b>1 ごみの減量に向けた施策の取組状況について</b>		
	(1) ゼロ・ウェイストの取組について (要旨) 将来にわたって誰もが安心して暮らせる社会をつくっていききたいという思いから、世界中に「ゼロ・ウェイスト宣言」をするまちが広がっている。本市もゼロ・ウェイストを目指して、ごみの減量を進める必要があると考えるが、市の見解を問う。		
	(2) 生ごみと紙のリサイクルについて (要旨) 生ごみを堆肥化(コンポストイング)するなど分別処理をし、資源として再利用できないか。また、紙をリサイクルすることで廃棄物として処理される紙の量を削減し、廃棄物の減量化ができるか。市の見解を問う。		
(3) ごみ減量を考える市民会議の設置について (要旨) ごみの減量は、市民の理解と協力が不可欠である。そのため、市民参画の会議体として、無作為抽出による(仮称)ごみ減量市民未来会議を設置し、市民とともにごみ減量施策を進めてはどうか、市の見解を問う。			
<b>2 動物の愛護と適切な管理について</b>			
(1) ペットと暮らすシニアの備えサポートについて (要旨) 高齢者とペットの問題は、飼い主の入院などでペットが取り残されてしまうなど、様々な問題を抱えている。高齢者のペット飼育の現状を把握し、担当部局を越えて連携を図り、高齢者が安心して暮らせる環境を整えるべきだと考えるが、市の見解を問う。			
<b>3 大久保北部の里山保全に向けた取組について</b>			
(1) 里山での活動の取組について (要旨) 里山を、緑とふれあうフィールドとして活用し、市民、活動団体、企業、学生、行政が一体となり、自然環境の大切さを学びながら、市民とつくる里山づくりの取組ができればよいと考えるが、市の見解を問う。			
(2) 神戸市と連携した里山保全について (要旨) 大久保北部の里山は、生物多様性に関する連携・協定を結んだ神戸市との市境にある。今後は、神戸市とも連携しながら、里山保全をしていく必要があると考えるが、市の見解を問う。			
(3) 里山条例の制定について (要旨) 6月議会では「条例制定も有効な手段と考えており、より効果的に自然環境を保全する方策について、幅広く検討する」との答弁を得た。その後の進捗を問う。			



発言順位	12	議員名	宮坂 祐太 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p><b>1 福祉人材の確保・育成・定着支援と高齢者福祉施設の整備促進について</b></p> <p>(1) 福祉人材の確保・育成・定着支援について  (要旨) 本市が掲げる将来にわたり質の高い介護サービスを継続的に提供できる環境を整えるために、福祉人材の確保・育成・定着支援のための取組をさらに前進させることが重要です。福祉分野全般における人材不足が全国的にも課題となっていますが、本市では特に介護支援専門員の人材不足が深刻な状況に陥っているとお聞きしています。そのため、千葉県柏市のように市独自で介護支援専門員の処遇改善のための支援を行ったり、本市独自の介護・障害福祉分野資格取得支援助成金の交付対象を介護支援専門員及び主任介護支援専門員の更新研修並びに介護支援専門員の再研修にも拡充したりするなど、財源として本12月議会に条例議案が提案されている福祉まちづくり基金の活用も視野に入れ、早急に対策を講じていただきたいと思います。市の見解をお伺いします。</p> <p>(2) 高齢者福祉施設の整備促進について  (要旨) 令和3年度に行われた魚住清掃工場跡地における特別養護老人ホーム等の整備に向けた公募が不調に終わって以降、同地における施設整備の進展が見られないことを不安視しています。次年度からの第9期介護保険事業計画の計画期間内に、地域密着型特別養護老人ホームをはじめとする高齢者福祉施設の整備促進のための取組を着実に推進していただきたいと思います。今後の本市の取組についてお伺いします。</p>		

発言順位	13	議員名	中村 茂雄 (明石維新の会)
発 言 事 項	<p><b>1 高齢者詐欺被害について</b></p> <p>(1) 詐欺被害減少に向けた取組について            (要旨) 本市は、高齢者向けに詐欺に関する情報を定期的に提供し、詐欺の手法や防止策についての啓発活動を行っている。しかし、詐欺被害は減少しておらず、被害額も大きくなっている。被害が減少していないため、新たな啓発方法が必要と考えるが、市の見解を問います。</p> <p><b>2 脱炭素に向けた取組について</b></p> <p>(1) 電気自動車の充電設備について            (要旨) 本市は、気候非常事態宣言において2050年までにCO2排出量と吸収量の均衡をとる実質ゼロを目指すと表明している。            市内には、電気自動車の充電設備が少なく、購入を断念せざるを得ない状況があると聞くが、充電設備の整備に関する将来を見据えた取組について、市の見解を問います。</p>		

発言順位	14	議員名	石井 宏法（自由民主党明石）
発 言 事 項	<p><b>1 明石市内での打ち上げ花火について</b></p> <p>(1) 市が22年間花火に関わらなかった理由について            (要旨) 有志の市民により22年ぶりに打ち上げ花火が行われた。この間、多くの市民から花火再開を望む声があったにもかかわらず、本市が花火に関わることを避けてきた理由は何か、本市の見解を問う。</p> <p>(2) 22年ぶりに市内で打ち上げられた花火の評価について            (要旨) 多くの市民が今回の花火について好意的な感想を持っていると聞くが、市民の声や感情をどのように捉えているか、本市の見解を問う。</p> <p>(3) シークレット花火の安全対策について            (要旨) 市が漁港利用について適切な助言指導を行ったことにより無事故でのシークレット花火につながったと考えていると聞くが、今回の花火の安全面での事後評価をどのように考えているか、本市の見解を問う。</p> <p>(4) 市と市民との協働による打ち上げ花火実施の可能性について            (要旨) 市民からは花火の継続を求める声があるが、シークレット花火では限られた人しか楽しめない。より多くの市民が花火を楽しむためには、市と市民が協力し、事前に告知を行い、会場での安全を確保した花火の打ち上げを行う必要があると考えるが、本市の見解を問う。</p> <p><b>2 本市の水道事業について</b></p> <p>(1) 水道事業の経営状況について            (要旨) 水道事業会計の令和5年度予算は赤字予算となっているが、この赤字の原因及び抜本的対策について、どのように考えているか、本市の見解を問う。</p> <p>(2) 今後の水道事業の経営について            (要旨) 水道局の職員数が年々減少しているが、このような体制で今後も安定的な水道事業を計画どおり継続していくことが可能なのか、本市の見解を問う。</p>		

発言順位	15	議員名	長尾博子(公明党)
発言事項	<p><b>1 小・中学校における体育館の空調設備の設置について</b></p> <p>(1) 小・中学校体育館の活用の現状について  (要旨) 近年の温暖化により、体育館内での熱中症が発生し、また利用範囲も制限があり、今までのように活用できなくなっています。体育の授業、部活動、地域行事等、利用頻度が多くありますが、今夏の体育館の利用状況をお聞きします。</p> <p>(2) 今後の学校体育館の空調設備の設置について  (要旨) 近年、猛暑が続く中、避難場所としても体育館を活用するに当たり、空調設備の設置は必須と考えますが、本市の見解をお聞きします。</p> <p><b>2 校内フリースクールの設置による不登校児童生徒への支援の充実について</b></p> <p>(1) 本市の不登校児童生徒支援の現状について  (要旨) 近年、様々な原因で登校できなくなった児童生徒が増えているが、一人も置き去りにせず、未来の大事な児童生徒を守るためにも、しっかり取り組んでいただきたい。本市の見解をお聞きします。</p> <p>(2) 校内フリースクールの設置による不登校児童生徒への支援の充実について  (要旨) 学校には行きたいが、教室には入れない様々な要因を持っている児童生徒のために、元気に楽しく学べる居場所を校内に設置できないか、本市の見解をお聞きします。</p>		

発言順位	16	議員名	金尾良信(市民の会)
発言事項	<p><b>1 明石商業高等学校福祉科開設について</b></p> <p>(1) 中学生体験学習会の様子について (要旨) 第2回目の中学生体験学習会(10月28日)の参加状況及び生徒の様子、今後の予定についてお答えください。</p> <p>(2) 福祉科体験の広報について (要旨) 福祉科体験の様子を、令和6年度の中学生に知ってもらい、興味を持ってもらえるような取組ができないか、見解をお答えください。</p> <p><b>2 市内の小学校、中学校、特別支援学校への支援について</b></p> <p>(1) 市内小学校、中学校、特別支援学校への看護師の配置について (要旨) 看護師の配置状況について、お答えください。</p> <p>(2) 市内小学校、中学校、特別支援学校への特別支援教育指導員、介助員の配置について (要旨) 市内の特別支援学級において、支援が必要な生徒が年々増加しているが、介助員、特別支援教育指導員の現況についてお答えください。</p> <p>(3) 明石養護学校の環境整備について (要旨) 明石養護学校の設備の老朽化対応についてお答えください。</p> <p><b>3 福祉人材の育成・確保について</b></p> <p>(1) 福祉現場で働く職員のさらなる待遇改善に向けたヒアリング結果の活用について (要旨) 6月、9月議会において、福祉現場にヒアリングを実施してほしいという質問を行った。様々な課題があることが把握できたが、ヒアリング結果を受けて、福祉サービスの質を高めるために市はどう取り組んでいくのか、お答えください。</p> <p>(2) 福祉サービスの質の向上に向けた取組について (要旨) 多くの事業所が開設されている中、それぞれの事業所がサービスの質をより向上させるためには、適切な施設運営を行うための職員教育や職員の資格習得支援を実施していく必要があると思うが、市としてどのような取組を行っているのか、お答えください。</p>		

発言順位	16	議員名	金尾 良信(市民の会)
発言事項	<p><b>4 石ヶ谷公園の利用について</b></p> <p>(1) あそびの丘におけるスロープ設置について  (要旨) 石ヶ谷公園のあそびの丘を利用する際にスロープがないため、外周を大きく迂回する必要がある。スロープを設けて、杖、車椅子、ベビーカー等の利用者が迂回せずにあそびの丘やトイレ等に行きやすいようにできないかとの市民の声を聞いている。障害がある人もない人も安心して遊べるように整備をしてはどうか、市の見解をお答えください。</p>		

発言順位	17	議員名	寺井吉広(明石かがやきネット)
発言事項	<p><b>1 高齢者施策について</b></p> <p>(1) 高齢者の移動支援について  (要旨) 高齢化が進む中、公共交通機関の空白地帯に住んでいたり、運転免許を返納したりした高齢者の生活の足の確保が市内でも課題になっている。高齢者の移動支援の現状と今後の取組について問う。</p> <p>(2) 元気な高齢者の応援について  (要旨) 団塊の世代をはじめ、元気な高齢者が地域のまちづくりを支えている。さらにその活動を充実させるため、元気な高齢者の応援が必要ではないか。</p> <p>(3) 認知症施策について  (要旨) 高齢化の進展に伴い、認知症高齢者も急増している中、本市では様々な施策を講じている。本年6月には、認知症基本法が成立した。本市の認知症施策の現状と今後の取組について問う。</p> <p>(4) 地域総合支援センターについて  (要旨) 高齢者にとって、地域総合支援センターは広く相談ができる総合的かつ包括的な対応を行う重要拠点である。気軽に相談できているのか、運営体制と相談対応について問う。</p> <p>(5) 独り暮らしの高齢者対策について  (要旨) 少子高齢化と長寿命化が進む中、独り暮らしの高齢者が多くなっている。地域住民と行政が一体となって高齢者の見守りを進めていく必要がある。市の見解を問う。</p> <p><b>2 山陽電鉄西江井ヶ島駅バリアフリー整備について</b></p> <p>(1) 山陽電鉄駅舎のバリアフリー整備計画について  (要旨) 市内の駅舎のバリアフリー化については、これまで、国や県、市が連携して整備費を補助しながら整備を進めてきている。次に藤江駅の整備を予定しているが、西江井ヶ島駅の整備について問う。</p> <p><b>3 明石市内の犯罪被害について</b></p> <p>(1) 市内における犯罪被害について  (要旨) 市内の犯罪発生状況はどうなっているのか。また、令和4年は20年ぶりに刑法犯認知件数が増加したと聞く。治安対策について問う。</p>		

発言順位	17	議員名	寺井 吉 広 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>(2) 消費者教育について  (要旨) 消費者教育推進法に基づき、関係機関が連携して消費者教育を推進していく必要があるが、本市の取組状況はどうか。また、あかし消費生活センターの令和4年度の相談件数、相談内容はどうか。さらに、カスタマーハラスメント防止について、市の見解を問う。</p> <p>(3) 明石市犯罪被害者等の権利及び支援に関する条例について  (要旨) 改正前の令和4年度までの運用状況はどうか。4回の条例改正をしているが、今後の見通しはどうか。</p>		



発言順位	18	議員名	上田 雅彦 (明石維新の会)
発 言 事 項	<p><b>1 高齢社会における本市の対応について</b></p> <p>(1) 本市における要介護認定者数の推移について (要旨) 他都市との比較における本市の状況を問う。</p> <p>(2) 地域コミュニティとの関わりについて (要旨) フレイル予防に関しては、地域コミュニティとの活動が欠かさないが、本市は地域コミュニティとどのような関わり方をしているのか。また、地域ごとに異なるニーズに答えられているのか。</p> <p>(3) フレイル対策及び市民への情報発信について (要旨) 今後、高齢者が増えていく中で、本市が実施する施策及びその情報が広く支援の必要な方々に対して届いているのか。</p> <p><b>2 播磨臨海地域道路について</b></p> <p>(1) 現在の問題点について (要旨) 播磨臨海地域道路（第二神明～広畑）の区間において、現在の交通渋滞や事故発生状況及び道路利用者からの不満・苦情について、どのように把握されているか。</p> <p>(2) これまでの取組・経緯及び今後の予定について (要旨) 決定されるまでの経緯、また、これからの市民への啓発について、どのように考えているか。</p> <p>(3) 播磨臨海地域道路の整備により期待される効果について (要旨) 予定ルートでは本市の西部地域の一部に留まるものであるが、整備により期待される効果をどのように考えているか。</p>		

発言順位	19	議員名	井藤圭順（自由民主党明石）
発言事項	<p><b>1 選挙の投票機会の確保について</b></p> <p>(1) 市民の投票機会の確保状況について  (要旨) 本年、第20回統一地方選挙が行われ、本市でも4月9日に県議会議員選挙、4月23日に市長及び市議会議員選挙が執行されました。市民の投票機会の確保に向けた取組状況について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 高齢者の投票機会の確保について  (要旨) 様々な要因により投票所に行きづらく、また、投票もしづらくなった高齢者の投票機会の確保について、市の見解を聞く。</p> <p><b>2 明石市社会福祉審議会児童福祉専門分科会について</b></p> <p>(1) 分科会設置の経緯と現状について  (要旨) 平成30年4月、本市の中核市移行に伴い、子ども・子育て支援法に基づき設置された子ども・子育て会議から、その役割を引き継ぐ形で、明石市社会福祉審議会児童福祉専門分科会が設置されました。同分科会の現状について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 分科会の今後について  (要旨) 本市の待機児童問題は喫緊の課題でありましたが、民間保育園や認定こども園の新設によって、待機児童が減少傾向にあります。同時に、官民連携した就職フェアの開催などによって、保育士確保だけでなく、定着するシステムの構築をしたことで、保育の質の確保もされてきました。様々な児童福祉の意見の集約をする同分科会の今後について、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	20	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p><b>1 気象防災アドバイザーについて</b></p> <p>(1) 気象防災アドバイザーの委嘱について  (要旨) 6月本議会において、防災・減災対策として、気象防災アドバイザーについてお聞きしましたが、委嘱についてのその後の進捗を聞く。</p> <p><b>2 庁内の空調について</b></p> <p>(1) 庁内の空調は時期ではなく、温度を基準にすべき。  (要旨) 庁内の空調は、「時期」ではなく、「温度」により、客観的な基準を設けるべきと考える。各フロアに応じた温度設定で、より快適な、そして、市民にとっては過ごしやすい、職員にとっては働きやすい良好な環境を創出していくべきと考える。</p> <p><b>3 保育施策について</b></p> <p>(1) 本市における夜間保育施設、24時間保育施設の実態について  (要旨) 本市における夜間保育施設、24時間保育施設の実態について確認する。</p> <p>(2) 市民ニーズの把握に努め、その必要性を検討していくべき。  (要旨) 夜間保育施設、24時間保育施設の必要性について、市民ニーズの把握をし、その必要性が認められる場合には、実現に向けた対応が必要と考える。</p> <p>(3) 実現の必要性を見極めた上での保育施設、並びに保育士の意見や要望の把握について  (要旨) 実現の必要性が認められる場合には、受け皿となる保育施設、並びに保育士の意見・要望を把握した上で対応が必要と考える。</p> <p><b>4 自治会運営について</b></p> <p>(1) 現在の本市の自治会加入率の推移について  (要旨) 平成21年度で自治会加入率が80%を割り込んでいるが、現状について確認する。</p> <p>(2) モデル的な取組として、自治会未結成地域に対し、市と市連自治協議会と協働で結成に向けた働きかけをした結果について  (要旨) 平成25年6月本会議質問について、その後の経過を問う。</p> <p>(3) 本市と兵庫県宅地建物取引業協会明石支部、市連自治協議会による三者協定の成果について  (要旨) 平成25年6月本会議質問について、その後の経過を問う。</p>		

発言順位	20	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>(4) 自治会存続のための方途について  (要旨) 現在存続している自治会をまずは守り支えていく必要がある。</p> <p>(5) (仮称)自治会助け隊を結成しないか。  (要旨) 各自治会が必要としている仕事を共にサポートし、いわゆる縁の下での力持ちとして、自治会の存続に寄与し、かつ、市と自治会をつなぐ役目を担うメンバーを市が派遣するという仕組みの構築をしないか。</p>		

発言順位	21	議員名	山下 祥 (市民の会)
発言事項	<p><b>1 誰一人取り残さない「海のまち」づくりについて</b></p> <p>(1) 大蔵海岸におけるビーチのユニバーサル化について  (要旨) 6月議会にて質問をしたビーチのユニバーサル化について、「誰もが楽しむことを諦めることのないビーチのユニバーサル化を進めていく」旨の答弁があったが、その実現に向けた進捗状況を問う。</p> <p><b>2 安心できる「子どものまち」づくりについて</b></p> <p>(1) 小児科の新規開業を促進する補助金制度を検討しないか。  (要旨) 年少人口10万人あたりの小児科医師数(令和2年)は、全国平均119.7人、兵庫県平均128.1人に対し、本市は72.9人と下回る。特に市東部では小児科数が限られ、神戸市内へ足を運ぶ市民もいるなど、小児科開設を要望する声は多い。愛媛県松山市や北海道釧路市などを参考に、補助金制度を創設し、こどもを核としたまちづくりに魅力を感じて暮らす子育て世代へ、さらなる安心を提供しないか、見解を問う。</p> <p>(2) 「小児科オンライン」導入を検討しないか。  (要旨) 夜間も含め、スマートフォンから小児科医に気軽に相談できるオンラインサービスが、各市町で続々と導入されている。本市においても、小児科数が少ないという現状改善のため、オンラインツールを活用した医療体制の整備を検討しないか、見解を問う。</p> <p><b>3 新たな財源を生み出す施策について</b></p> <p>(1) あかし市民広場の大型液晶ビジョンやデジタルサイネージを広告媒体として活用しないか。  (要旨) 本広場における1日あたりの平均通行人数は、約1.9万人だと聞く。多くの人の目に留まるという点では、一定の広告効果を有する場所だと考える。広告媒体として新たな収入源をつくり、市民サービスの向上につなげないか、見解を問う。</p>		

発言順位	22	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p><b>1 明石川の水質汚染について</b></p> <p>(1) 有害物質の発生源の特定と対応について (要旨) 調査を行い明らかにするべきと考える。見解を問う。</p> <p>(2) 水道水以外の影響について (要旨) 認識を問う。</p> <p>(3) 市民からの相談対応について (要旨) 健康不安を感じている市民の相談窓口を開設するべきと考える。認識を問う。</p> <p>(4) 検査を希望する市民への対応について (要旨) 検査を希望する市民に対し費用を助成するなど、必要な対策を講じるべきと考える。見解を問う。</p> <p>(5) 今後の取組について (要旨) 政府に対策を求めるべきと考える。見解を問う。</p> <p><b>2 消防中崎分署の移転について</b></p> <p>(1) 移転に向けた取組について (要旨) 進捗状況を問う。</p> <p>(2) 移転先の変更について (要旨) 見解を問う。</p> <p><b>3 市民相談への対応について</b></p> <p>(1) 相談・支援の取組について (要旨) 支援を必要とする市民が各種施策について理解し利用することができるような取組が必要と考える。認識を問う。</p> <p>(2) 専用電話等の開設について (要旨) 見解を問う。</p> <p><b>4 公職選挙法第178条について</b></p> <p>(1) 選挙後のあいさつ行為の制限について (要旨) 法律上認められない行為について見解を問う。</p> <p><b>5 林崎掘割について</b></p> <p>(1) 歴史的・文化的価値について (要旨) 市の認識を問う。</p> <p>(2) 今後の取組について (要旨) 市が維持管理に対し責任を負うべきと考える。認識を問う。</p>		

発言順位	22	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p><b>6 クビアカツヤカミキリ対策について</b></p> <p>(1) 現状について  (要旨) 市内で確認されている。市の取組状況について問う。</p> <p>(2) 今後の取組について  (要旨) 民間施設や個人宅へ拡散することが懸念される。今後の対応について問う。</p>		

発言順位	23	議員名	中西 礼 皇（対話の会あかし）
発 言 事 項	<p><b>1 明石川の水質・PFAS（有機フッ素化合物）の問題について</b></p> <p>(1) 水道水の安心・安全について  (要旨) 市民が明石市の水道水を安心して利用できるようになっているかを問う。</p> <p>(2) 明石川の水質について  (要旨) 明石川の水質を改善するために取り組まれていること、今後取り組む必要のあることを問う。</p> <p><b>2 大久保北部市有地について</b></p> <p>(1) 活用、売却ができなかった理由について  (要旨) 課題は整理されているのか。</p> <p>(2) 土地の買い増し等の可能性について  (要旨) 土地を買い増す、整理する等の可能性について問う。</p> <p>(3) 交通アクセスについて  (要旨) 活用方法によっては周辺道路の整備が必要になると思われるが、どうか。</p> <p>(4) これまでの議論と異なる点について  (要旨) 議会で過去に幾度となく質問があった。現在はこれまでと異なる状況にあるのか、活用に向けて注力するつもりがあるのかを問う。</p>		



発言順位	24	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p><b>1 誰一人取り残さないまちづくりについて</b></p> <p>(1) 災害時の支援体制について  (要旨) 明石市防災訓練が、令和5年11月19日に開催された。様々な視点に立って避難所運営が体験できる訓練だったが、情報弱者・要支援者への配慮が課題であると感じた。市の考えと今後の取組について聞く。</p> <p>(2) 共助の取組の推進について  (要旨) 災害時のみならず、地域における共助は重要である。様々な立場の方が住民同士の共助を構築する大変有効な機会である防災訓練に参加できるよう、さらなる啓発・普及が必要だと考える。市の考えと今後の取組について聞く。</p> <p>(3) NET119緊急通報システムの周知啓発について  (要旨) 緊急時、音声での119番通報が困難な聴覚障害者や難聴者、言語機能障害者等が円滑に消防へ通報できるNET119緊急通報システムがある。全国的に広まっているが、本市の登録者数は令和5年現在41名であり、より広く市民へ周知することが必要と考える。本システムの周知啓発方法など、市の考えと今後の取組について聞く。</p>		